



# 精華地域学校規模適正化検討協議会ニュース

第6号



平成26年12月  
教育政策課

第6回協議会が11月17日(月)に開催されました。

## 第4回帯解地域学校規模適正化検討協議会について(概要)



○統合再編に係る調整が必要な事項の進捗状況について、次のことを報告しました。

- ・10月16日に行われた精華小学校と帯解小学校の第1回目の交流会の様子、それ以降の日程。
- ・PTA組織の運営に関することとして、9月18日に役員の皆様方にお集まりいただき、PTA組織の在り方等について話し合いの概要とその後の予定。
- ・10月1日に両地域の協議会会長、副会長にお集まりいただき、校名、校章、校歌について協議していただいた概要。

○10月10日開催の第5回精華地域学校規模適正化協議会の概要報告をしました。

○校名等については、次のようなご意見をいただきました。

- ・帯解小の先生も精華小の先生も子どものために教育しているのではないか。それなのに、統合したら校名を変えて意識を変えないといけないというのはおかしい。
- ・統合小学校の場所を帯解小学校の場所にするのなら、校名も帯解小学校にするのが本来である。
- ・市教委がどんな案を出しても100%賛成することはないと思う。帯解小学校という名前を精華地域に提案していただきたい。
- ・帯解精華小学校という名称でもいいと思う。
- ・校歌を4月からすぐに変えなくてもいいと思う。1年間かけて新しい校歌を作ればいいと思う。
- ・9月1日に校長先生が子どもたちに統合再編の話をしてから、協議会委員以外の方から「校名を変えないように」という多くの意見を聞いている。

○次回、両地域の協議会会長、副会長にお集まりいただく場で教育委員会が校名等について案をお示し、両地域に説明し進めていくことを了解していただきました。

## 統合再編に係る調整が必要な事項の進捗状況について



### ◆児童の交流について

第1回交流学習…10月16日(木) 全校児童が帯解小学校に行き交流しました。

帯解小学校5年生の児童に学校紹介をしてもらったあと、それぞれの学年の教室に案内してもらい、それぞれの学年ごとに自己紹介やゲーム等の交流活動をしました。

第2回交流学習…11月6日(木) 帯解小学校の3、4年生が来て、干し柿作りをしました。

第3回交流学習…11月18日(火) 帯解小学校の1、2年生が来て、体育の学習を行う予定です。

第4回交流学習…12月15日(月) 全校児童が帯解小学校に行き、集会活動を行う予定です。

### ◆PTA組織の運営に関することについて

9月18日、10月19日、11月1日に、両校のPTAの役員の皆様にお集まりいただき、統合後のPTA組織の在り方や会則、会計について話し合いをしていただき、概ね調整すべき事項について調整を行うことができました。

◆11月10日に開催された両協議会代表による校名、校章、校歌に係る協議について

両協議会より会長、副会長にお集まりいただき、校名、校章、校歌についてご協議いただきました。その場で、「1つの学校と1つの学校が統合して、新しい学校になっていくこと」「新しい学校の場所は、帯解小学校の現在の場所であること」「それぞれの地域が、それぞれの学校に対して強い思いを持っておられること」の3つのことをもとに教育委員会より校名等の案をお示しました。

校名…帯解小学校とする。 校章…新しく制定する。 校歌…新しく制定する。

このことに対して、精華地域からは、

- 私たちに責任を押し付けているように思う。これで了承したとは言わないでほしい。
- 市教委は楽な方法を選んだ。今の案では納得できない。
- 対等合併をしてもらう。校名が変わる、変わらないで左右されて、7年前に戻るようなことになったら、あかん。これ以上、教育委員会に振り回されたくない。
- 10月1日の協議で、「Aという名前で承服できない。Bという名前で承服できない。だから、Cという校名の案を出す」ということで、市教委が案を出すとなったのではないかな。
- 大きくなったら校名は覚えていても、校歌は覚えていない。一番大事なのは校名だと思う。
- 校名が帯解だったら、誰が見てもそれは吸収合併と見るのではないかな。だから、校名を変えないといけない。

などのご意見があり、帯解地域からは、案に対しての具体的な異論がございませんでした。

次のご意見やご質問をいただきました。(概要)

(→市教育委員会事務局からの回答)

- 校名に関して、原則として残る学校の名前を使うということだが、どうして、そういうことは最初の時点で、「原則として」という言葉が使われなかったのか。  
→この「原則として」は、今後、他の地域で統合再編を進めていくときも同様に進めていくということです。しかし、協議会を立ち上げていただいた段階で校名について、このようにしていくという案はまだございませんでした。
- 向こうは吸収合併と思っているのではないかな。  
→教育委員会として、吸収合併と考えていませんので、帯解地域の協議会が立ち上がった時よりこのことも含めて説明しています。
- もともと学校というものは地域の人のためだけでない。たまたま帯解と言っているだけで、広い目で見たら、奈良市民のもの。だから、その地域のための名前だけ残るとするのはおかしい。
- 今、話が流れて、次に検討協議会が立ち上がったとして、もう一度スクールバス云々の話が果たしてできるかと言ったら、できないと思う。校名も大事だが、精華小学校の校風である質実剛健な教育を今度の帯解小学校に取り入れてもらうことも、精華小学校の遺伝子を残すという意味で大事だ。
- 小学校が吸収合併になったら、今度は地域が帯解に吸収される危惧をもっている。この話がこじれたら、当然4月には間に合わない。
- 今後も校名について検討していくつもりなら、校名を仮称帯解精華小学校という名前で両協議会に通してほしい。

このような意見をいただいた中で、統合については前向きに進める、校名についての協議内容を帯解地域の協議会で伝える、今後の進め方については改めて示すことを申し上げました。

第7回学校規模適正化検討協議会は、  
の開催日時については、改めて後日お  
知らせをさせていただきます。

お問い合わせ先  
奈良市教育委員会事務局教育政策課  
TEL 34-5386